

7月11日・12日と神戸新聞運動面には本校体育科の取材記事が掲載されました。10日掲載分からの連載です。寮での食事

風景や授業の様子など細かに取材をしていただき、寮生の心の動きなども記事にいただきました。その中でお互いの人間関係や寮での役割分担等にも触れていただき、本校の様子をうまく伝えていただけたように思います。12日に陸上の試合を見に行った際にも以前社高校に勤務されていた先生から「以前いたからやはり記事は気になる。今は落ち着いているな。良い広報をしてもらえたな。」と感想をいただきました。多くの方の目に触れる機会をいただき本当にありがたかったです。今回の取材を機に寮生には責任感も生まれてくるでしょうから記事にもあるように「同じ志、さらなる高みに」を追求して

いってほしいと思っています。寮生の皆さん、そして寮に関わる教職員の皆様、ご協力ありがとうございました。

また11日にはサッカーが県総体代替試合を本校で開催。3年生を中心にメンバーを組み、県立農業高校に3-0で勝利をおさめ、次のラウンドにコマを進めることができました。一方陸上の方は、県陸上競技協会主催の選手権大会が行われました。11日は、神戸・阪神地区に警報が出たため8月9日に延期され、第2日目の12日分のみ競技が行われ

ました。今年のシーズン開幕の大会だけにケガの心配もありましたが、3年生は心のこもった試合運びをしてくれ、臨時休業期間中も気持ちのこもったトレーニングを各自でやってくれていたのだということが十分に伝わってくる試合でした。特に走高跳では3年武政選手が2m07の自己新記録で優勝を飾り、2位に入った樺田選手も 2m04 の自己新記録で気を吐きました。短距離種目は向かい風で条件が悪かったのですが、大幅な自己新記録を出す選手もおり、各自の取組みの結果が表れてきています。さらなる高みを目指して挑戦を続けてほしいと思っています。また、競技場の入り口では受付作業の際に会場への入場許可を得なければならない、1週間分の検温結果を記入した体調チェック表の提出が求められていました。普段とは違う大会の開催でしたが、各競技で対策を考えられて競技会、大会が開催されるようになりました。感染者もまた増加傾向にある中、各人の健康チェックは大切です。大きな休業につながらないように気を付けていきたいと思っています。

いつまで続くかわかりませんが、大会の無観客要請についてですが、本校も会場になることが多く、各競技団体から指示が出されていると思います。11日のサッカーの大会時ご協力いただき、大きなトラブルはなかったとの報告を受けています。今後も選手送迎をしていただきながら、会場には入れない、車を乗り入れられないという連絡をしなければならないことがあります。非常に心苦しいことではありますが、改めてのご協力をお願いいたします。

13日からは期末考査が始まりました。完全な授業再開からは4週間。6月2週までのことを考えると5週間分のテスト範囲となります。例年中間考査から期末考査までが約5週間ですからその期間に該当します。始業式から中間考査までの期間はゴールデンウィークやオリエンテーション、検診などもあり実質3週間はないくらいの授業となっていますので、その分は夏季休業の短縮により(午前中授業が多いですが)少しずつ補っていきたいと考えています。(臨時休業中も課題には取り組んでもらっていましたので、そういったことも含めて。)

7月18日からは兵庫県高校野球大会(甲子園予選代替大会)が始まります。組み合わせは新聞発表されていましたが、観客が制限されているため日時場所は公表されていません。そしてこの大会に NHK 神戸放送局が「一生に一度の夏」というテーマで応援企画の番組を放送することになり、その取材に本校に来られました。7月18日(土)10:05総合テレビで兵庫県向けとして放送予定だそうです。ホームページにはその広報ビデオが流れているのですが、本校野球部田中主将が「一生に一度の夏、さぁ行こう!」と声をかけていますので、ご覧になってください。また本番の放送もよろしく願いいたします。

